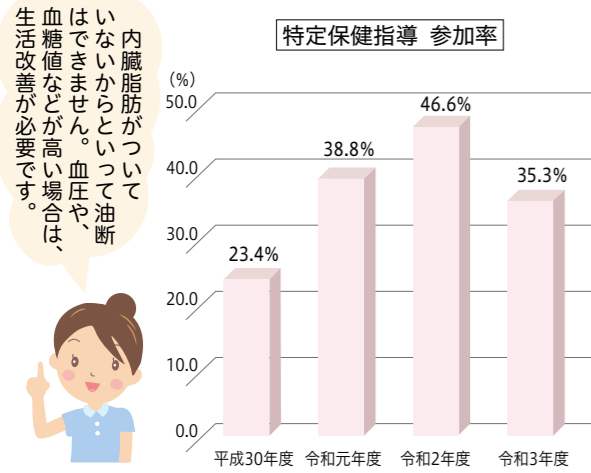


健康

特定保健指導を受けましょう

▶申し込み・問い合わせ 健康課 ☎73-3014



寒い冬は、体を動かす機会が減り、ついつい「食」の誘惑が多くなることから、内臓脂肪が増加します。内臓脂肪から出る悪玉ホルモンは、糖尿病や高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病を発症する危険性を高めます。内臓脂肪は、つきやすい反面、食事の改善や運動で減らしやすい特徴があります。おなか周りが気になったら、生活習慣改善の始め時です。特定健診結果に基づき、生活習慣病のリスクの高い人には、健康課から特定保健指導の案内をしています。ここ数年、市民の皆さんの健康意識も高まっていますが、昨年度は参加率がかなり低下してしまいました。案内通知がお手元に届いた人は、ぜひ健康課まで申し込んでください。



健康

若年健康診査を受けましょう

▶申し込み・問い合わせ 健康課 ☎73-3014

20～39歳の国民健康保険加入者のための健康診査です

若年健康診査は、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満症候群)などの生活習慣病の予防を目的としています。年に1回、ご自身の健康管理にぜひご活用ください。

対象者
市に住所を有する、20～39歳の国民健康保険被保険者
※令和5年3月31日時点

内容
身体計測、診察、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図検査など

自己負担金 700円

日時
令和5年1月27日(金)、29日(日)、31日(火)
午前9時～11時

場所
27日…三野町保健センター
29日…市民交流センター
31日…山本町保健センター

※35～39歳の人には、12月下旬に案内はがきを送付します。
※20～34歳の人には、希望者に案内はがきを送付します。希望する人は、健康課に電話または入力フォームから申し込みください。

▲入力フォームはこちらから



健康

ジェネリック医薬品差額通知を送付します

▶問い合わせ 健康課 ☎73-3014



後期高齢者医療制度の被保険者へ、12月に「ジェネリック医薬品差額通知」を送付します。

この通知書は、現在処方されている先発医薬品からジェネリック医薬品(後発医薬品)に切り替えた場合に、自己負担額の差額(薬代がどれくらい安くなるか)をお知らせするものです。

対象者
現在、使用している薬をジェネリック医薬品(後発医薬品)に切り替えることで、薬代の自己負担額が300円以上軽減できる人

ジェネリック医薬品とは?
最初に作られた薬(先発医薬品)の特許期間終了後に、有効成分や効果が同等の医薬品で、厚生労働省の認可の下で製造・販売された新薬より安価な医薬品のことです。

健康

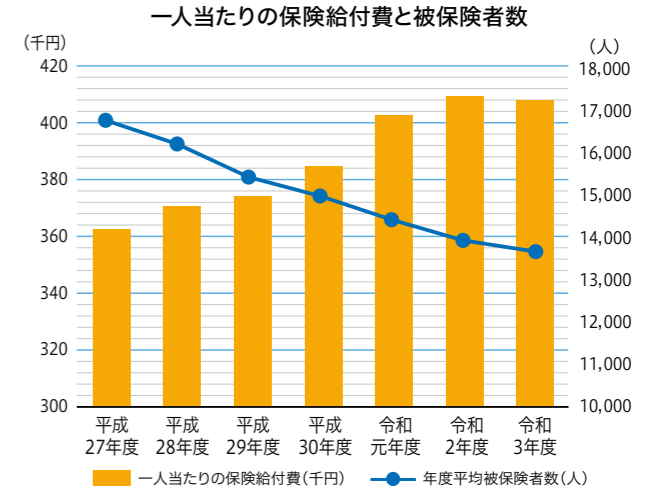
令和3年度国民健康保険事業特別会計の決算報告

▶問い合わせ 健康課 ☎73-3014

市の国民健康保険加入状況(令和3年度末)

国民健康保険は、職場の健康保険や後期高齢者医療制度など他の健康保険に加入している人を除く、全ての人が加入する「国民皆保険制度」の基盤です。病気やけがをしたときに安心して医療が受けられるよう、香川県と三豊市が共同で運営しています。

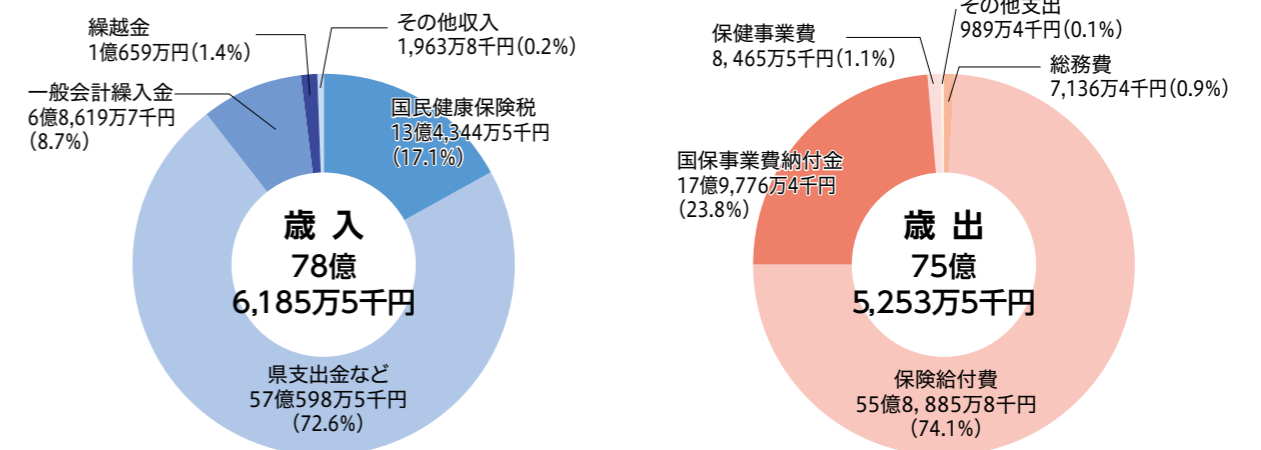
被保険者数は毎年減少していますが、一人当たりの保険給付費は毎年増加する傾向にあります。人口減少や医療の高度化などにより、この傾向は今後も続くと考えられ、増え続ける医療費を少ない加入者で支える状況が顕著になっています。



決算の状況

国民健康保険事業特別会計は、主に国民健康保険税・県支出金・一般会計からの繰入金などの公費で、歳出の約74%を占める医療費などの保険給付費を賄っています。

令和3年度決算は歳入78億6,185万5千円、歳出75億5,253万5千円となり、うち3億932万円を令和4年度へ繰り越しました。令和2年度からの繰越金(1億659万円)を除いた単年度収支で見ると、2億273万円の黒字となっています。



医療費の適正化に向けて

国民健康保険では、毎年、健診や健康教室などの保健事業を行うことで被保険者の健康を支えています。一人ひとりが健康管理に努め、健康の維持増進を心掛けていくことが国民健康保険の安定した運営につながります。



積極的に健診や健康教室などに参加し、生活習慣病などを予防しましょう。